

令和元年度上半期

小美玉市水道事業会計  
業務状況報告書

茨城県小美玉市  
水道局

## 目 次

### 小美玉市水道事業業務状況報告

- ・ 令和元年度上半期 小美玉市水道事業業務状況報告書 . . . . . 3
  - 1 概 況
  - 2 業 務

### 小美玉市水道事業会計決算

- ・ 令和元年度上半期 小美玉市水道事業会計決算報告書 . . . . . 9
- ・ 令和元年度上半期 小美玉市水道事業会計損益計算書 . . . . . 11
- ・ 令和元年度上半期 小美玉市水道事業会計貸借対照表 . . . . . 12
- ・ 注 記 表 . . . . . 15

# 小美玉市水道事業業務状況報告書

## 令和元年度上半期 小美玉市水道事業業務状況報告書

### 1 概 況

#### (1) 総括事項

市勢の発展と市民生活の向上に伴う水需要に対処するため、本年度も引き続き小美玉市水道事業基本計画による施設等の施設整備を進めてまいります。

本年度事業につきまして、前年度に国庫補助事業による配水管布設替工事として発注した与沢地内ほか3件を本年度事業へ繰越しを行いました。

また、前年度繰越し工事を含む国庫補助事業による配水管布設替工事として山野地内ほか10件、浄水場施設の整備改修として小川浄水池更新工事1件を発注しました。

道路改良工事に伴う配水管布設替工事として羽鳥地内ほか5件、公共下水道工事に伴う配水管布設替工事として竹原地内ほか1件、舗装復旧工事として花野井地内1件を発注しました。

なお、今後の発注予定として、国庫補助事業による配水管布設替工事として飯前地内1件、浄水場施設の整備改修として美野里浄水場ろ過池ろ材改修工事ほか1件、道路改良工事に伴う配水管新設・布設替工事として江戸地内ほか9件、公共下水道工事に伴う新設・布設替工事として竹原下郷地内ほか4件、舗装復旧工事として佐才地内ほか4件をを予定しております。

また、設計委託業務につきましては、配水管布設替工事等の実施に伴う設計業務4件を委託しました。

経営面においては、独立採算制に基づき公営企業としての経済性を発揮し、本来の目的である公共の福祉の増進に努めております。

## イ 営 業

本年度の事業予定量として、給水件数 14,900 件、年間配水量 4,230,000 m<sup>3</sup>、1 日平均配水量 11,577 m<sup>3</sup>を基本としまして事業を運営し、本年度上半期の実績として給水件数 15,260 件（前年度比 264 件増）、上半期配水量 2,143,704 m<sup>3</sup>（前年度比 21,887 m<sup>3</sup>増）、1 日平均配水量 11,714 m<sup>3</sup>（前年度比 119 m<sup>3</sup>増）となりました。

上半期有収水量につきましては 1,842,637 m<sup>3</sup>（前年度比 11,926 m<sup>3</sup>減）となり、有収率は 86.00%（前年度比 1.40%減）となりました。

この結果、営業収益の根幹となる給水収益は 346,891,942 円（前年度比 0.64%減）となりました。

## ロ 経理状況

収益的収支（税抜き）につきましては、本年度上半期の水道事業収益 378,495,597 円に対し、水道事業費用 334,051,125 円を計上し、44,444,472 円（前年度比 13,816,064 円減）の上半期での利益が見込まれます。

また、資本的収支（税込み）につきましては、本年度上半期の収入額 51,098,800 円に対し、支出額 443,311,292 円となり、不足額については損益勘定留保資金、減債積立金、任意積立金、消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんする予定となっております。

## (2) 議会議決事項

議案番号	件 名	提出年月日	議決年月日
議案第 75 号	令和元年度小美玉市水道事業会計 補正予算（第 1 号）	令和元年 8 月 28 日	令和元年 9 月 20 日
議案第 84 号	平成 30 年度小美玉市水道事業会計 決算認定	令和元年 8 月 28 日	令和元年 9 月 20 日

(3) 行政官庁認可事項

申請年月日	申請番号	申請先	件名	許認可等年月日 (許認可番号)

(4) 職員に関する事項

区分	職員数		増減			備考
	令和元年度	平成30年度	増	減	計	
事務吏員	9	10		1	△ 1	
技術吏員						
計	9	10		1	△ 1	

## 2 業 務

### (1)業 務 量

区 分		令和元年度 上半期	平成30年度 上半期	比 較		備考
				増 減	比 率	
給 水 件 数		15,260件	14,996件	264件	1.76 %	
配 水 量	上 半 期 配 水 量	2,143,704m <sup>3</sup>	2,121,817m <sup>3</sup>	21,887m <sup>3</sup>	1.03 %	
	1 日 最 大 配 水 量	11,715m <sup>3</sup>	12,881m <sup>3</sup>	△ 1,166m <sup>3</sup>	△ 9.05 %	
	1 日 平 均 配 水 量	11,714m <sup>3</sup>	11,595m <sup>3</sup>	119m <sup>3</sup>	1.03 %	
有 収 水 量		1,842,637m <sup>3</sup>	1,854,563m <sup>3</sup>	△ 11,926m <sup>3</sup>	△ 0.64 %	
有 収 率		86.00%	87.40%	△ 1.40%	△ 1.38 %	
供 給 単 価		188円26銭	188円25銭	1銭	0.01 %	
給 水 原 価		181円17銭	172円68銭	8円49銭	4.92 %	

### (2)事業収益に関する事項

(税抜き)

(単位：円)

区 分		令和元年度 上半期	平成30年度 上半期	比 較		備考
				増 減	比 率	
水 道 事 業 収 益		378,495,597	379,038,156	△ 542,559	△ 0.14 %	
給 水 収 益		346,891,942	349,130,382	△ 2,238,440	△ 0.64 %	
受 託 工 事 収 益		0	0	0		
そ の 他 営 業 収 益		586,100	665,900	△ 79,800	△ 11.98 %	
受 取 利 息		104,100	310,102	△ 206,002	△ 66.43 %	

他 会 計 補 助 金	0	0	0	
長 期 前 受 金 戻 入	30,640,615	28,844,826	1,795,789	6.23 %
雑 収 益	272,840	86,946	185,894	213.80 %
国 庫 補 助 金	0	0	0	

(3)事業費に関する事項

(税抜き)

(単位：円)

区 分	令和元年度 上半期	平成30年度 上半期	比 較		備考
			増 減	比 率	
水 道 事 業 費 用	334,051,125	320,777,620	13,273,505	4.14 %	
浄 水 費 及 び 配 水 費	57,493,873	52,110,014	5,383,859	10.33 %	
受 託 工 事 費	0	0	0		
総 係 費	59,978,555	61,420,294	△ 1,441,739	△ 2.35 %	
減 価 償 却 費	165,304,141	157,837,597	7,466,544	4.73 %	
資 産 減 耗 費	0	0	0		
支 払 利 息	51,056,343	48,877,472	2,178,871	4.46 %	
雑 支 出	0	0	0		
特 別 損 失	218,213	532,243	△ 314,030	△ 59.00 %	

小美玉市水道事業会計決算  
( 財 務 諸 表 )

令和元年度上半期 小美玉市水道事業会計決算報告書

(1) 収益的収入及び支出

収 入 (消費税込) (単位：円)

区 分	予 算 額				決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	執行比	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第26条 の規定による支出額に 係る財源充当額	合 計				
第1款 水道事業収益	847,273,000	0	0	847,273,000	375,587,896	△ 471,685,104	44.3%	
第1項 営業収益	765,713,000	0	0	765,713,000	375,210,876	△ 390,502,124	49.0%	うち仮受消費税 27,732,834
第2項 営業外収益	81,560,000	0	0	81,560,000	377,020	△ 81,182,980	0.5%	うち仮受消費税 80

支 出 (消費税込) (単位：円)

区 分	予 算 額							決 算 額	地方公営企 業法第26条 の規定によ る繰越額	予算残額	執行比	備 考
	当初予算額	補正予算額	流 用 増減額	小計	地方公営企 業法第26条 の規定によ る繰越額	継続費 通 次 繰越額	合 計					
第1款 水道事業費	822,286,000	121,000	0	822,407,000	0	0	822,407,000	175,117,136	0	647,289,864	21.3%	
第1項 営業費用	706,021,000	121,000	0	706,142,000	0	0	706,142,000	123,825,125	0	582,316,875	17.5%	うち仮払消費税 6,352,697
第2項 営業外費用	96,063,000	0	0	96,063,000	0	0	96,063,000	51,056,343	0	45,006,657	53.1%	
第3項 特別損失	202,000	0	36,000	238,000	0	0	238,000	235,668	0	2,332	99.0%	うち仮払消費税 17,455
第4項 予 備 費	20,000,000	0	△ 36,000	19,964,000	0	0	19,964,000	0	0	19,964,000	0.0%	

(2) 資本的収入及び支出

収入 (消費税込)

(単位：円)

区 分	予 算 額					決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	執行比	備 考	
	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法 第26条の規程に よる繰越額に係 る財源充当額	継続費通次 繰越額に係 る財源充当 額					合 計
第1款 資本的収入	646,624,000	0	646,624,000	419,549,000	0	816,173,000	51,098,800	△ 765,074,200	6.3%	
第1項 加入金	15,792,000	0	15,792,000	0	0	15,792,000	11,998,800	△ 3,793,200	76.0%	うち仮受消費税 888,800
第2項 工事負担金	36,064,000	0	36,064,000	0	0	36,064,000	0	△ 36,064,000	0.0%	
第3項 企業債	360,000,000	0	360,000,000	250,000,000	0	360,000,000	39,100,000	△ 320,900,000	10.9%	
第4項 国庫補助金	234,767,000	0	234,767,000	169,549,000	0	404,316,000	0	△ 404,316,000	0.0%	
第5項 資産売却代金	1,000	0	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000	0.0%	

支 出 (消費税込)

(単位：円)

区 分	予 算 額						決 算 額	翌年度繰越額			予算残額	執行比	備 考	
	当初予算額	補正予算額	流用 増減 額	小 計	地方公営企 業法第26条 の規定によ る繰越額	継続 費通 次繰 越額		合 計	地方公 営企業 法第26 条の規 定によ る繰越 額	継続 費通 次繰 越額				合 計
第1款 資本的支出	1,078,410,000	175,300,000	0	1,253,710,000	390,571,000	0	1,644,281,000	443,311,292	0	0	0	1,200,969,708	27.0%	
第1項 建設改良費	842,132,000	0	0	842,132,000	390,571,000	0	1,232,703,000	150,447,915	0	0	0	1,082,255,085	12.2%	うち仮払消費税 11,144,289
第2項 企業債償還金	236,278,000	175,300,000	0	411,578,000	0	0	411,578,000	292,863,377	0	0	0	118,714,623	71.2%	

令和元年度上半期 小美玉市水道事業会計損益計算書

(令和 元年 9月30日 現在)

	円	円	円
1 営業収益			
(1) 給水収益	346,891,942		
(2) 受託工事収益	0		
(3) その他の営業収益	586,100	347,478,042	
2 営業費用			
(1) 浄水及び配水費	57,493,873		
(2) 受託工事費	0		
(3) 総係費	59,978,555		
(4) 減価償却費	165,304,141		
(5) 資産減耗費	0		
(6) その他営業費用	0	282,776,569	
営業利益			64,701,473
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	104,100		
(2) 国庫補助金	0		
(3) 長期前受金戻入	30,640,615		
(4) 雑収益	272,840	31,017,555	
4 営業外費用			
(1) 支払利息	51,056,343		
(2) 消費税	0	51,056,343	△ 20,038,788
經常利益			44,662,685
5 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	0		
(2) 固定資産売却損	0		
(3) その他特別損失	218,213	218,213	△ 218,213
当年度純利益			44,444,472
前年度繰越利益剰余金			0
その他未処分利益剰余金変動額			0
当年度未処分利益剰余金			44,444,472

令和元年度上半期 小美玉市水道事業会計貸借対照表

(令和 元年 9月30日 現在)

		資 産 の 部			
		円	円	円	円
1	固定資産				
	(1) 有形固定資産				
	イ 土地		194,909,726		
	ロ 建物	159,880,575			
	減価償却累計額	<u>△ 96,028,250</u>	63,852,325		
	ハ 構築物及び機械装置	14,736,820,994			
	減価償却累計額	<u>△ 6,064,799,795</u>	8,672,021,199		
	ニ 量水器	42,850,450			
	減価償却累計額	<u>△ 22,336,268</u>	20,514,182		
	ホ 車両及び運搬具	9,991,000			
	減価償却累計額	<u>△ 7,521,250</u>	2,469,750		
	ヘ 工具器具及び備品	8,338,800			
	減価償却累計額	<u>△ 7,873,960</u>	464,840		
	有形固定資産合計			<u>8,954,232,022</u>	
	固定資産合計				<u>8,954,232,022</u>
2	流動資産				
	(1) 現金預金			451,041,221	
	(2) 未収金		96,836,782		
	貸倒引当金		<u>△ 2,190,000</u>	94,646,782	
	(3) 貯蔵品			16,768,747	
	(4) 前払金			278,800,000	
	(5) その他流動資産			18,926,601	
	流動資産合計			<u>860,183,351</u>	
	資産合計				<u><u>9,814,415,373</u></u>

		負債の部		
		円	円	円
3	固定負債			
	建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,816,607,394		
	企業債合計		4,816,607,394	
	固定負債合計			4,816,607,394
4	流動負債			
(1)	企業債			
	建設改良費等の財源に充てるための企業債	118,713,475		
	企業債合計		118,713,475	
(2)	未払金		0	
(3)	引当金			
	イ 賞与引当金	0		
	引当金合計		0	
(4)	その他流動負債		30,021,714	
(5)	預り金		28,525,066	
	流動負債合計			177,260,255
5	繰延収益			
	長期前受金		4,180,823,518	
	収益化累計額		△ 1,819,971,429	
	繰延収益合計			2,360,852,089
	負債合計			<u>7,354,719,738</u>

		資本の部		
		円	円	円
6	資本金			1,761,205,796
7	剰余金			
	(1) 資本剰余金			
	イ 加入分担金	5,919,006		
	ロ 補助金	92,085,702		
	ハ その他資本剰余金	14,961,577		
	資本剰余金合計		112,966,285	
	(2) 利益剰余金			
	イ 減債積立金	358,716,082		
	ロ 利益積立金	181,773,000		
	ハ 任意積立金	590,000		
	ニ 当年度未処分利益剰余金	44,444,472		
	利益剰余金合計		585,523,554	
	剰余金合計			698,489,839
	資本合計			2,459,695,635
	負債資本合計			9,814,415,373

## 注 記 表

### 1 重要な会計方針に関する事項

#### (1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法とする。ただし、先入先出法によることが適当でないものについては、個別法によることができる。

#### (2) 有形固定資産の減価償却の方法

・減価償却の方法 定額法による。

・主な耐用年数

建物	15～60年
構築物・機械及び装置	10～60年
量水器	8年
車両及び運搬具	4～5年
工具器具及び備品	2～8年

#### (4) 引当金の計上方法

##### イ 退職給付引当金

職員の退職手当は一般会計との「退職手当組合負担金に関する覚書」を取り交わし、茨城県市町村総合事務組合負担金条例に基づく退職手当組合負担金を負担しているため、退職引当金は計上していない。

##### ロ 賞与引当金

職員の期末勤勉手当及びそれらに係る法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

##### ハ 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

#### (5) 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっている。

2 予定貸借対照表等に関する注記

- (1) 令和元年 6 月に、平成 30 年 12 月分から平成 31 年 3 月分の職員の期末勤勉手当及びそれらに係る法定福利費を支給したため、賞与引当金 5,921,000 円を取り崩した。